

なぜぱんの木なの？



ハワイには「パンの木の神話」がたくさんあります。その一つに次のような神話があります。

むかし、人の姿をした神が何人もいました。神の一人、クーはごく普通の男として、ハワイ島の一人の女性と結婚し、この島に住み、土地を耕し、妻や子どもたちと生活をしていました。

数年が経ち、飢饉(ききん)(※)が訪れ、海から山まで島中の人々が飢えと病気に苦しんでいました。クーの家族も飢えに苦しんでいました。クーの子ども達も食べ物を欲しがり、妻はすすり泣きました。「子ども達の食べ物を持ってこようか？でも、きっと長い、長い旅になるだろう」とクーは妻に言いました。

「戻ってくるのでしょうか？」妻は不安げに彼に尋ねました。

「もしも出かけたなら、二度とは戻れないだろう」彼は答えました。

妻は彼にすがりつきました。「ああ、行ってはいけません！」彼女は言いました。けれども、子ども達が食べ物を求めて泣き叫ぶと彼女は再び夫の元に行き、「子ども達が苦しんでいるのを見てはいられません。」と、やっとの思いでそれだけを言いました。クーは妻の気持ちを受け止め、その晩畑に出てくるよう妻に言いました。

クーは妻に悲しい別れを告げると畑に逆立ちをし、地面にもぐりこみました。妻は悲しくて、土の中にもぐってしまった夫を思い毎日泣き、その涙は土にこぼれ落ちました。

その後…。クーのもぐったところから芽が出て木が成長し、その木に果実がたくさんなりました。イム(※)が焚かれ、熟した実が焼かれました。食べてみると、とてもおいしいものだとなりました。妻と子ども達は夫の生まれ変わりの木になった果実をおなかいっぱい食べることができました。今では果実が家の中にたくさんあり、近所の人々に分けてあげるのにも十分なほどになりました。しかし、その実はクーの家族だけしか摘むことはできません。他の誰かが取ろうとすると、樹は後ずさりして地面に隠れてしまうのです。芽が生えてくると家族はそれを摘み取り、友達や近所の人々に分けました。

「これを植えなさい。そうすれば、あなたの所にも実が実りますよ」。そうやって、パンノ木は、ハワイの島中に広がったのです。

※飢饉(ききん)・・・農作物が育たず人々がおなかをすかせること

※イム・・・地面に穴を掘り熱い石を並べ、食材を乗せて蒸し焼きにするハワイ式かまど

この話はハワイの神話です。

私はこの物語の中から「親が子どもを思う計り知れない愛情の深さ」を強く感じました。

株式会社 MTH にて「障がい者ライフサポート パンの木」を行うにあたり、「子を思う親の心」+「安心して食生活が営める環境」を作っていきたいと思えます。

一見、パン屋さんと間違えてしまいそうですが、事業を取り組むにあたり私達の活動には、「パンの木」という名前が適していると感じました。

株式会社 MTH の障がい者ライフサポート「パンの木」は、物語のような子を思う親の気持ちで就労継続支援事業や移動支援事業を行ってまいります。

株式会社 MTH 代表取締役 安田 智考

障がい者ライフサポート

ぱんの木

ぱんの木

YASUDA Group

弁当 軽食 雑貨 屋さん

ぱんの木

Bento & Cafe

ORIGINAL BLEND
COFFEE

Enjoy fragrant freshly
ground coffee.



障がい者ライフサポート

ぱんの木

就労継続支援 B 型事業所

ぱんの木

詳しくは HP→<http://pannoki.co.jp>



就 労 継 続 支 援 事 業 B 型 ぱんの木

ぱんの木



「食事」とは、「人に良い事」と書きます。
食から得る喜びと和みから何かが始まる。



自然から得る素材で作る、
素敵なアートを制作・販売。



太陽と植物と過ごす時間、
季節を感じ、食材を収穫・販売。



障がい者ライフサポート事業 ぱんの木

ぱんの木

就労継続支援B型事業所 ぱんの木
〒246-0025 (事業所番号1413400639)
横浜市瀬谷区阿久和西1-7-3グレイス詩香 1F
電話 045-360-1551 FAX 045-360-1553

移動支援サービス HOLO HOLO (ほろほろ)
〒246-0025 (事業所番号1463400265)
横浜市瀬谷区阿久和西1-7-3グレイス詩香 1F
電話 045-360-1552 FAX 045-360-1553

詳しくは HP → <http://pannoki.co.jp>

